

SEAJ推奨安全教育テキスト R.4.01 改訂ポイント

主な改訂ポイント		諸規則 改訂への対応 誤記のため、整合を取るため、訂正 質問票等でのご意見を反映			
章		テキスト	頁	場所	内容
	まえがき				なし
1	安全の基本	① 受講者用	1-8	ノート	誤字修正 解放⇒開放
2	職場/作業環境				なし
3	人間工学				なし
4	手工具と電動工具				なし
5	荷役装置				なし
6	閉鎖空間				なし
7	高所作業	① 受講者用	7-9	ノート	文言追加 移動式足場(ローリングタワー) 日本では高さ5m以上(3段以上)のローリングタワーの組立・解体作業時には「足場組立等作業主任者」の選任が必要となります。 ⇒日本ではローリングタワーの組立・解体作業を行うには「足場の組立て等特別教育」の受講が必要で、高さ5m以上もしくは3段以上の場合は「足場組立等作業主任者」の選任が必要となります。
		② 受講者用	7-9	ノート	文言削除 高所作業車 特別教育(労働安全衛生規則第36条)が必要 ⇒特別教育が必要
8	電気関係の作業				なし
9	化学物質の危険性				なし
10	放射エネルギー				なし
11	機械的および熱的な危険	① 受講者用	11-11	まとめ	文言変更 1. 機械的危険源には、挟み込み⇒機械的危険源による事故事例として、押しつぶし
		② 講師用	11-11	まとめ	文言変更 1. 機械的危険源には、挟み込み⇒機械的危険源による事故事例として、押しつぶし
12	加圧及び真空	① 受講者用	12-4	ノート	文言削除 括弧内の下記文言を削除 (残圧を抜くためには、一度に配管を外さずにネジ部2~3山を残して一旦止め、斜めにして隙間をつくり圧力を逃がしてから取り外します。)
		② 講師用	12-4	ノート	文言追加 「装置に合った残圧開放手順を確認しておきましょう。」を追加。
		③ 受講者用	12-7	まとめ	文言削除 1. ……空気圧、水圧、油圧など… ⇒…空気圧、水圧など…
		④ 講師用	12-7	まとめ	文言削除 1. ……空気圧、水圧、油圧など… ⇒…空気圧、水圧など…
13	無人搬送台車	① 受講者用	13-5	ノート	文言変更 最高速度 200m/min ⇒最高速度は200m/min程度
		② 受講者用	13-6	ノート	文言変更 最高速度 200m/min ⇒最高速度は200m/min程度
		③ 講師用	13-5	ノート	文言変更 最高速度 200m/min ⇒最高速度200m/min程度
		④ 講師用	13-5	ノート	文言変更 最高速度 60m/min ⇒最高速度60m/min程度
14	産業用ロボット				なし
15	危険エネルギーの制御	① 受講者用	15-5,6,16	ノート	誤字修正 解放⇒開放
		受講者用	15-6	スライド	誤字修正 解放⇒開放
		受講者用	15-19	まとめ	誤字修正 解放⇒開放
		② 講師用	15-1,4,6,9,15,1	ノート	誤字修正 解放⇒開放
		講師用	15-6,20	まとめ	誤字修正 解放⇒開放
講師用	15-15	スライド	誤字修正 解放⇒開放		
16	保護具	① 受講者用	16-12	まとめ	文言変更 2. 保護具の着用を指示された場合には、受入不可能な残留リスクが存在している。 ⇒保護具の着用を指示された作業や作業環境には、必ず残留リスクが存在している。
		② 講師用	16-12	まとめ	
17	リスクアセスメント	① 受講者用	17-4	スライド	文言削除 ISO/IEC Guide 51:1999 ⇒ISO/IEC Guide 51
		② 講師用	17-4	スライド	文言削除 ISO/IEC Guide 51:1999 ⇒ISO/IEC Guide 51
18	緊急時の対応	① 受講者用	18-8	スライド	文言修正 倒れている人の胸の真ん中に手掌基部を重ねてのせ、肘を伸ばしたまま真上から強く(5cm以上沈むまで)押ししてください。圧迫を繰り返す時は、手を胸から離さないでください。完全に胸が元に戻ってから次の圧迫をするようにしてください。 -----を下記に修正----- 1. 強く(少なくとも5cm以上、6cmを超えない) 2. 早く(100回~120回/分を目安に) 3. 絶え間なく(10秒以上血流を中断させない) 4. 確実に緩める(確実に胸壁が戻るまで力を緩める)
		② 受講者用	18-8	ノート	文言修正 肘を伸ばしたまま真上から強く(胸が5センチ以上沈むまで)押ししてください。 ⇒肘を伸ばしたまま真上から強く押ししてください。(少なくとも5cm以上、6cmを超えない)
		③ 講師用	18-8	スライド	文言修正 倒れている人の胸の真ん中に手掌基部を重ねてのせ、肘を伸ばしたまま真上から強く(5cm以上沈むまで)押ししてください。圧迫を繰り返す時は、手を胸から離さないでください。完全に胸が元に戻ってから次の圧迫をするようにしてください。 -----を下記に修正----- 1. 強く(少なくとも5cm以上、6cmを超えない) 2. 早く(100回~120回/分を目安に) 3. 絶え間なく(10秒以上血流を中断させない) 4. 確実に緩める(確実に胸壁が戻るまで力を緩める)
		④ 講師用	18-8	ノート	文言修正 2010年のガイドラインでは、 ・人口呼吸よりも胸骨圧迫を優先 (血液循環を先に促し、脳細胞のダメージを軽減) ・人口呼吸の実施のこだわらない (方法を知らない、苦手である場合は省略する) -----を下記に修正----- 2015年のガイドライン(一次救命処置) *変更点(改善)と強調点 強く⇒少なくとも5cm以上、6cmを超えない (必要な深さであっても乱暴に押し下げない) 早く⇒100回~120回/分を目安に (押し下げるテンポは、遅いより早い方が好ましい) 絶え間なく⇒10秒以上血流を中断させない (交代時またはAED電極パッド装着時、衣服を脱がす時など) 確実に緩める⇒確実に胸壁が戻るまで力を緩める (押し潰れた心室が元の形状に戻るまで押し下げた力を緩める)
A1	ガスの安全教育	① 受講者用	9-35	参考資料	文言追加 表内、ホスフィン(PH ₃)の自然発火性に○を追加
		② 講師用	9-35	参考資料	文言追加 表内、ホスフィン(PH ₃)の自然発火性に○を追加